



2022年9月27日

各位

会社名 Appier Group 株式会社  
代表者名 代表取締役 CEO 游直翰  
(コード番号: 4180 東証グロース)  
問い合わせ先 Senior Vice President of Finance 橘 浩二  
(TEL 03-6435-6617)

## 米国 Woopra, Inc.の株式取得(子会社化)に関するお知らせ

当社は、2022年9月27日付の取締役会において、当社の連結子会社である Appier Pte. Ltd.及びその子会社である WPR Acquisition Inc. (以下、「特別目的会社」と言います。)が、Woopra, Inc. (以下、「Woopra」と言います。)との間で合併契約を締結し、特別目的会社と Woopra との合併を行うことで、Woopra を Appier Pte. Ltd.の完全子会社とすることを決議し、本日付で合併契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

これは、米国デラウェア州会社法の規定に従った、現金のみを対価とした「逆三角合併」方式によるもので、詳細に関しては下記のとおりです。

### 記

#### 1. 株式取得の理由

「ソフトウェアをよりスマートに、AIでROIを向上させる」が当社グループのミッションです。

当社グループは、将来、全ての企業のソフトウェアにAIが搭載され、企業の意思決定がより正確で自動的であることに加え、ユーザーの行動を先回りするような形で実行されるようになると想定しています。当社グループは高度なAIマーケティングのソリューションをSaaS(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)モデルで提供するパイオニアであり、AIによって自動的に消費者の行動を予測するという特徴をもった、セールス及びマーケティング活動の全領域を支援するソリューションを提供しています。

企業のマーケティング担当者にとって、ファーストパーティーデータを活用して顧客を十分に理解し、深いインサイトを得て、効果的な顧客獲得・エンゲージメント戦略を立てることがより重要となっています。この傾向はカスタマー・データ・プラットフォーム(CDP)、中でも顧客の持つファーストパーティーデータを統合し、豊富な情報源から実行可能なインサイトを引き出す技術を有するプラットフォームにとっては追い風となっています。この成長機会はまだ初期段階にあり、様々な第一世代のCDPが提供されていますが、まだ満たされていない多くのニーズが存在しています。例えば、インサイトを得るスピード、直感的なデータ可視化、AIを活用した意思決定と自動化の実現には、多くのCDPユーザーやCDPの導入を検討している企業にとって最大の課題となっています。このような満たされていないニーズに対し、当社グループは技術的基盤、AIのノウハウに関する強み、マーケティングに関する深い知見を活用することができます。

Woopra 社の買収により、Woopra の優れた分析・可視化機能と Appier の AIXON が提供する AI 機能を融合させる予定です。この次世代 CDP プラットフォームを利用することにより、エンドユーザーを 360 度全方位で把握し、ファーストパーティーデータから包括的な顧客プロフィールを確立し、機械学習モデルの自動構築によりエンドユーザーの行動を正確に予測することができるようになりますと想定しています。当該買収により、自社で AI 技術全体を構築する場合の投資を行う必要もありませんし、生じうるリスクを取る必要もありません。また、顧客は、直感的な可視化分析ができる AI を搭載した CDP がカスタマージャーニー全体をシームレスに誘導することで、タイムリーに実行可能なインサイトを見出すことができます。

アジア太平洋市場における CDP の普及率は、CDP の導入やデータ活用の面でまだ大きな成長余地があることを考慮すると、今回の買収により、ファーストパーティーデータを利用したサービスにおける当社のリーダーシップポジションをさらに強化できると考えています。さらに、今回の買収により、米国市場におけるフルファネル・ソリューションの提供も可能になります。

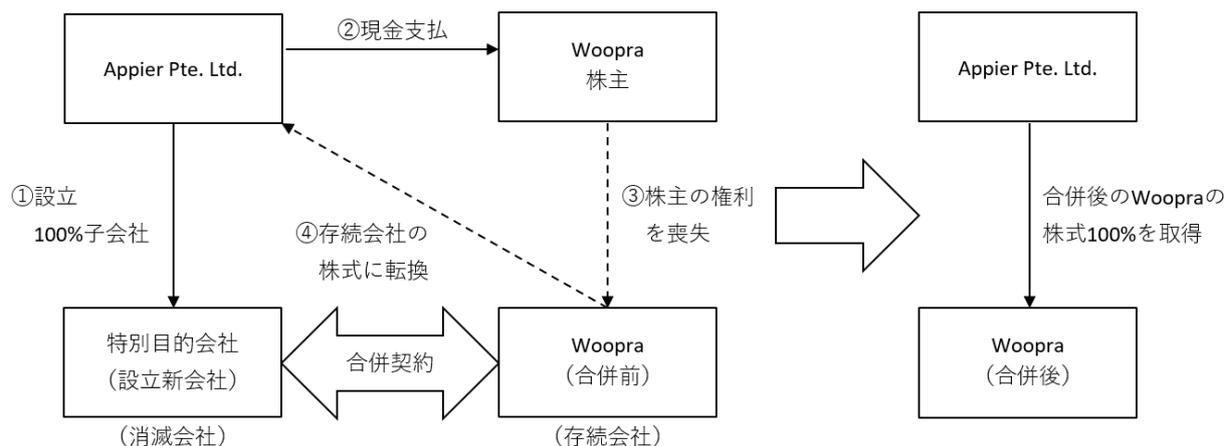
Woopra 社は、米国カリフォルニア州を拠点に米国及び欧州において B to C 及び B to B の幅広い顧客基盤を有し、カスタマージャーニー分析、マーケティングオートメーション、データマネジメントの分野で実績のある SaaS (ソフトウェア・アズ・ア・サービス) プラットフォームを提供しています。Woopra 社は、高い顧客満足度に裏付けされた収益性の高い財務実績を有しています。Woopra 社と当社グループの統合により、顧客および商品分析市場における両社の地位はさらに強化され、欧米市場における当社グループのエンタープライズ市場への浸透と成長がさらに加速されると想定しています。また、Woopra 社のグローバルな顧客基盤により、当社グループが特にエンタープライズ向けプロダクト群のビジネス成長を強化する上で、グローバルな基盤をさらに拡大し、強固なものにする大きな機会を提供すると考えています。

## 2. 株式取得の方法

本件は米国デラウェア州会社法の規定に従い、Woopra を存続会社、特別目的会社を消滅会社とする、現金を対価とした「逆三角合併」による方法を採用します。

当該合併に際し、Woopra の株主は、Appier Pte. Ltd.より現金を受け取り、Woopra の株式は全て消却されます。また、Appier Pte. Ltd.が所有する全ての特別目的会社の株式は、存続会社 Woopra の普通株式に転換され、Appier Pte. Ltd.はその全てを取得します。これにより、Appier Pte. Ltd.は、合併後の存続会社 Woopra の発行済み株式の100%を取得し、存続会社 Woopra は当社及び Appier Pte. Ltd.の完全子会社となります。

<本件スキーム図>



### 3. 異動する子会社(Woopra, Inc.:存続会社)の概要

|     |                 |  |             |
|-----|-----------------|--|-------------|
| (1) | 名 称             | Woopra, Inc.   |             |
| (2) | 所 在 地           | 600 California St, 11th Floor, San Francisco, CA, 94108, USA                 |             |
| (3) | 事 業 内 容         | カスタマージャーニー分析、マーケティングオートメーション、データマネジメントのための SaaS(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)プラットフォームを提供 |             |
| (4) | 上場会社と当該会社との間の関係 | 資本関係   | 該当事項はありません。 |
|     |                 | 人的関係   | 該当事項はありません。 |
|     |                 | 取引関係   | 該当事項はありません。 |

(注)資本金、経営成績及び財政状態等については、本件が任意開示であり、先方の要請により記載を省略しております。Woopra は 2021 年 12 月期の未監査財務諸表において、営業利益、純利益ともに黒字を計上しております。

### 4. 異動する子会社(WPR Acquisition Inc.:消滅会社)の概要

|     |           |  |  |
|-----|-----------|--|--|
| (1) | 名 称       | WPR Acquisition Inc.                             |  |
| (2) | 所 在 地     | 251 Little Falls Drive Wilmington, DE 19808, USA |  |
| (3) | 事 業 内 容   | 合併準備会社   |  |
| (4) | 大株主及び持株比率 | Appier Pte. Ltd. 100%                            |  |

### 5. 取得前後の所有株式の状況

|     |             |                   |
|-----|-------------|-------------------|
| (1) | 異動前の議決権所有割合 | 0%                |
| (2) | 異動後の議決権所有割合 | 100%(うち間接所有 100%) |

(注)株式取得の相手先、取得株式数及び取得価額については、本件が任意開示であり、先方の要請により記載を省略しております。なお、株式取得の相手先と当社との間に特筆すべき関係はありません。

### 6. 異動年月日

2022 年 10 月(予定)

### 7. 今後の見通し

本件に伴う 2022 年 12 月期業績に与える影響は軽微です。

以上